

令和元年度全国学力・学習状況調査 朝来市小学6年生と中学3年生の 学力と学習状況の分析結果



平成31年4月18日（木）実施

調査の概要

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることが目的です。今年度も昨年度に引き続き、悉皆調査として文部科学省によりすべての小・中学校を対象としてこの調査が実施されました。

この調査によって測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面となります。

そして、この調査には、これからの社会を担っていく子どもたちに身に付けてほしい資質・能力を示したメッセージという側面があるといえます。

調査の内容

- 教科に関する調査
国語、算数・数学、英語（中学校）
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
児童生徒に対する調査
学校に対する調査

今年度から、従来の「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題が構成されています。

出題傾向（小学校）

<国語>

- 報告文、ノートのまとめ、レポートについての出題
※ 物語文等の単なる読み取り、読解の出題はない。
- 実際に使う場を想定した出題（「理解」→「伝える」へ）
- 選択問題＋字数制限内でまとめて書く出題

<算数>

- 算数科（小学校第5学年までの内容）における4領域（A 数と計算、B 図形、C 変化と関係、D データの活用）に示された内容がバランスよく出題
- 「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」の3つの観点に関わるものが出題
- 日常生活の事象や数学的な事象から算数・数学の問題を見だし、解決に向けて問題を焦点化し、数学的な表現を用いて筋道を立てて説明する内容で出題
- 「事実」や「方法」「理由」を記述する問題が多く出題

出題傾向（中学校）

<国語>

- 自分の考えを持ち、伝えたい事について、根拠を明確にして書く出題
- 封筒の書き方など、実際の生活の中で活用される言語能力についての出題
- 語の一部を省いた表現など、場面や状況に応じた適切な表現の仕方に関する出題

<数学>

- 四則計算ができるだけでなく、計算の結果の特徴を的確に考え、数の概念について考える出題
- 数学的に表現した（グラフ、式、表）ことや、その結果を事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する出題
- 図形における基本的な証明だけではなく、条件を変えた場合、それが成り立つのかどうか、反例等を活用して考察し、さらに結論が成り立つための前提を考えた上で新たな事柄を見出して説明する出題
- 資料に基づいて不確定な事象を考察する場面において、表を活用して数学的に処理する、資料の傾向を読み取る、結果を批判的に考察する、判断したことの根拠を数学的な表現を用いて説明する出題
- 証明によって見出した事柄について、結果を事象に即して解釈し、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する。また、統合的・発展的に考察する出題

<英語>

- 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができているかを確認する出題
- 日常的な話題について、情報を正確に読み取ることができているか確認する出題
- まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解できているか確認する出題

調査結果の分析

小学生

国語

全国平均と同程度

算数

全国平均と同程度

中学生

国語

全国平均をやや下回る

数学

全国平均を下回る

英語

全国平均をやや下回る

小学校各教科の結果

国語

全国や県平均と同程度である

定着傾向がみられる資質・能力

- 目的に応じて、文章の内容を的確に把握し、自分の考えを明確にしなが
読む力
- 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む力
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる力



定着傾向がみられる代表的な問題

【インタビューの様子】

岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報紙の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしくお願
いします。

大谷さん こちらこそ、よろしくお願います。

岸さん では、早速ですが、広報紙で大谷さんは、「私にとっ、量はどれもみりよくでき
なものです」とおっしゃっていましたよね。どのようなところにみりよくがあると
思われますか。

大谷さん 私の店の量について言えば、全て一点物だということなんです。私は、機械を使わずに、
細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した量は
同じように見えても、それぞれに個性があるんです。そこが私にとっの一番の
みりよくですかね。

岸さん そうなのですね。それはつまり、

大谷さん そうです。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、
職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん 職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。

岸さん では、どのようにして腕をみがいたのですか。

【広報紙の記事】

3 岸さんは、町の広報紙に取り上げられていた職人の大谷さんを、学校の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをしました。次は、「広報紙の記事」で、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【インタビューの様子】

大谷さんの仕上げた量

「わが町の達人 ～第25回～
「部屋の床に
量をびたりとおさめる量職人」

店主の大谷さんは、十八歳のころに地元で量店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた量作りの伝統の技を五十年間守り続けている。部屋の床にすぎ間も段差もなくびたりとおさめる量を作らせた。大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に量をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずにびたりとおさめることができる。

「私にとっ、量はどれも魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

【直接聞いてみたいこと】

大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。

大谷さんが述べているたたみのみりよくとは何だろうか。



算数

全国や県平均と同程度である

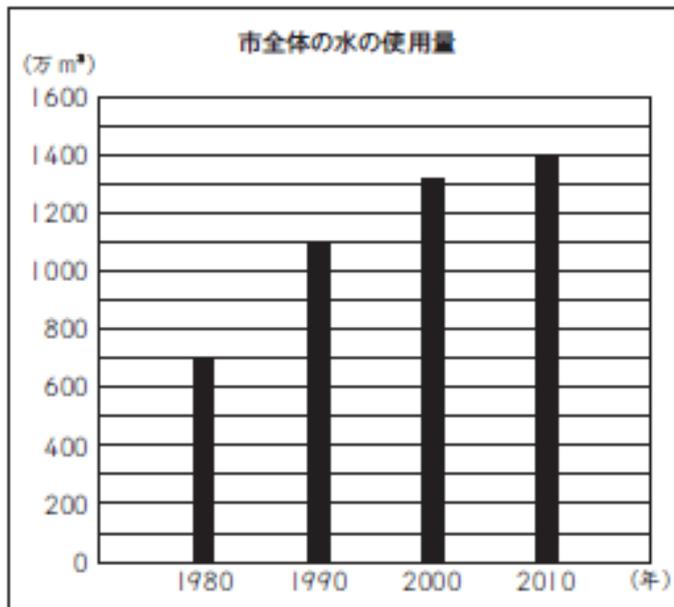
定着傾向がみられる資質・能力

- 基本的な平面図形を考察する力
- 資料の特徴や傾向を読み取る力
- 場面の状況を数理的にとらえ、複数の情報の中から適切な情報を選択する力

定着傾向がみられる代表的な問題

かいとさんたちは、水を大切に使っているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、グラフ1を見つけました。

グラフ1



(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、グラフ1からどのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 市全体の水の使用量は、減っている。
- 2 市全体の水の使用量は、変わらない。
- 3 市全体の水の使用量は、増えている。
- 4 市全体の水の使用量は、増えたり減ったりしている。

課題があると考えられる資質・能力

- 図形と式とを関連付け、筋道を立てて考察し表現する力
- 資料の中の数量の大きさの関係を読み取る力
- 複数の資料の特徴や傾向を関連付けて考え、判断する力
- 示された情報を読み取り、算数の用語を使って適切に表現する力

課題があると考えられる代表的な問題

ともやさんは、 $421 - 298$ や $600 - 201$ のようなくり下がりのあるひき算について、次のように計算しやすい式にして考えました。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array}$$

変わらない

だから、 $421 - 298$ の答えの \square は、123です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array}$$

変わらない

だから、 $600 - 201$ の答えの \square は、399です。



ゆいな

【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないのですね。

ゆいなさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいなさんがまとめたこと】

ひき算では、
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のようを考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$\begin{array}{ccc} 400 \div 25 = \square & & \\ \downarrow \times 4 & \downarrow \times 4 & \curvearrowright \text{変わらない} \\ 1600 \div 100 = 16 & & \end{array}$
だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16です。
$\begin{array}{ccc} 90 \div 18 = \square & & \\ \downarrow \div 9 & \downarrow \div 9 & \curvearrowright \text{変わらない} \\ 10 \div 2 = 5 & & \end{array}$
だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5です。

- (2) ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の \square の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、
※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

課題克服に向けた授業展開例

国語

身に付けさせたい資質・能力

目的や意図に応じて、自分の考えを明確にし、まとめて書く力

ねらい

条件の範囲でまとめて書く（プレゼンテーション）活動を通して、必要な情報を落とさず、わかりやすい伝える力をつける

授業展開例

4年 調べたことを整理し、発表しよう「だれもが関わり合えるように」
説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう
「『クラブ活動リーフレット』を作ろう」

(例)

- 1 資料を読み、調べる材料を決める
- 2 文章の組み立てを考える
(はじめ—中—終わり, 関係図, 表, ワークシートなどの活用)
- 3 説明する文を書く (はじめ—中—終わり, 接続語, 段落などへの意識)
- 4 発表の内容と、相手が見やすくわかりやすい工夫を考える
(写真, 絵, 小見出し, グラフや表などの資料,
伝えたいことが書けているか)
- 5 発表する (他の人はメモしながら聞く)
- 6 振り返りをする

(指導の工夫)

○「はじめ—中—終わり」に書くことを、それぞれ
数枚の付箋に書き、それをつなげることで要点を
落とさず文章を構成させることを意識させる。

つなぐときの「接続語」や段落も、その際に考えさせる。

○説明したいことのうち、事実と考えを別の色の付箋で表し、整理しながらまとめる工夫を促す。



○「自分の考えをもつ」ことはもちろん大切であるが、個人ではハードルの高い児童もいるので、テーマごとに班を作り、グループワークで意見を出し合ったり文章の構成に当たらせたりする。



○発表用の原稿と別に、ICT機器を活用し大まかなことだけ描いたプレゼン用の画面を作らせ、画面を指し示したり相手の顔を見て話したりするような発表をめざさせる。



算数

身に付けさせたい資質・能力

計算に関して成り立つ性質を見いだして表現し、活用する力

ねらい

「自分たちが見つけた法則について話し合う活動」を通して、「算数の用語を使って適切に表現する力」を身につける。

授業展開例

4年 「わり算の性質をつかって」

(例)

1 $8 \div 2$ 、 $80 \div 20$ 、 $800 \div 200$ の計算について調べる。

わり算の式がちがっても答えが同じになるわけを考えよう。

- ①お金の模型や図を使って、3つの答えが同じになることを自分で考える。
- ②ペアで考えを伝え合い、その後全体で話し合う。
 - ・10円玉や100円玉の個数に着目すると、 $80 \div 20$ や $800 \div 200$ も、 $8 \div 2$ で求めることができる。
 - ・わられる数とわる数を、同じ数(10や100)でわっていることを確認させる。

わられる数とわる数を10倍や100倍しても、わられる数とわる数を10や100でわっても、商は4になる。

2 わられる数とわる数に、10や100以外の同じ数をかけたりわったりした場合でも、商は4になるかどうかを調べる。

- ①わり算の性質を使って、 $80 \div 20$ と答えが同じになるわり算をいろいろつくる。
 - ・80と20にどんな数をかけたのか、どんな数でわったのかを矢印を使って表す。

$8 \div 2 = 4$	$8 \div 2 = 4$
$\times 2 \downarrow \uparrow \div 2$	$\times 3 \downarrow \uparrow \div 3$
$16 \div 4 = 4$	$24 \div 6 = 4$

3、「わられる数」「わる数」「同じ数」という3つのキーワードを使って、わり算のきまりを書いてまとめる。

わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わらない。

わり算の性質を使えば、
複雑な計算も簡単にできそうだな。

4、見つけたきまりがほかの商の場合でも成り立つかどうかを調べる。

- ①商が4になる式以外でも、同じようなきまりが成り立つのか確かめる。
 - $24 \div 8 (= 12 \div 4, = 6 \div 2, = 48 \div 16, \dots)$ 商は3
 - $30 \div 6 (= 10 \div 2, = 15 \div 3, 60 \div 12, \dots)$ 商は5

5、見つけたきまりを活用し、計算を能率的にすることができるというよさに気づく。

- ① $600 \div 15$ を計算しよう。
 - ・わられる数とわる数に2をかけて $1200 \div 30 = 40$
 - ・わられる数とわる数を3でわって $200 \div 5 = 40$
 - (こうする方が、簡単に計算ができる!)
- ② $6500 \div 250$ を計算しよう。
 - ・わられる数とわる数を10でわって $650 \div 25$
 - わられる数とわる数に4をかけて $2600 \div 100 = 26$
 - (100でわるわり算にするやり方もできる!)

(指導の工夫)

- 算数の用語を使って、きまりについてまとめるようにさせる。その際には、キーワードという形で用語を示し、自分で考えてきまりを書くようにする。
- 見つけた法則について話し合う活動を通して、児童にとって主体的・対話的な学習の場となるようにする。

中学校各教科の結果

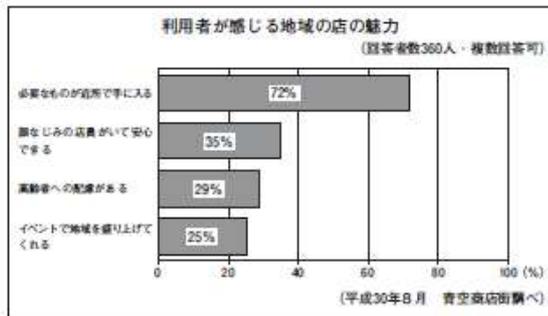
国語

全国や県平均をやや下回っている。

定着傾向がみられる資質・能力

- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する力
- 相手にわかりやすく伝わる表現を捉える力

定着傾向がみられる代表的な問題



「広報誌の一部」

- 1 たとえ我が家がインターネットを利用しても、
- 2 たとえ我が家が地域の店を利用しなくても、
- 3 いくらインターネットが便利でも、
- 4 いくら地域の店が便利でも、

「青木さんは、読み手にとってより分かりやすい文章にするために、『意見文の下書き』の④のところに言葉をに入れて書き直すことにしました。書き加える言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。」



③ 意見文の下書き

最近、我が家ではインターネットを利用して買い物をする機会が増えている。それは、店に行かなくても豊富な商品を選べる上、重い荷物を持たなくてよいからだ。母も「便利になった」と喜んでいる。これは、インターネットでの買い物ならではの利点だ。しかし、④皆が買いたい物の多くをインターネットで済ませるようになったら、地域の店はいつの間になくなってしまふのだろうか。

地域の店には、インターネットでの買物にはない魅力があるからだ。私は昨年度、学校の近くの店で職場体験をした。その店では、インターネットでは出回らない、地元の特産品を販売していた。私が自宅で見つけている着もその店で買ったもので、地元の水で作られている。他では買えないその土地ならではの商品を、手に取って選ぶことができるのは、地域の店の魅力だ。

我が家でも買いたい物の仕方を見直し、インターネットだけでなく地域の店も積極的に利用し、その店を通して地域の魅力をどんどん見付けていきたい。皆さんも毎日の暮らしに目を向けて、地域とのつながりに関して改めて考えてみるはどうだろうか。

③ 青木さんは、「地域と私たちのつながり」というテーマで意見文を書いています。次は、青木さんが書いた「意見文の下書き」と、読み返したあと新たに取材して見つけた、青木さんが住んでいる地域の「広報誌の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。



課題があると考えられる資質・能力

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを持つ力
- 文章の展開に即して、情報を整理し内容を捉える力

課題があると考えられる代表的な問題

全国中学生新聞
2019年(平成31年)4月14日(日曜日)
33 6

海外に広がる弁当の魅力



カスクルート

【シリーズ】再発見！日本の文化

日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。例えば、「弁当」(bento)、「漫画」(manga)、「俳句」(haikai)、「浴衣」(yukata)、「縁起物」(emaki)などは、海外でも受け入れられていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、互固にわたって、その魅力を紹介していきます。第一回は、弁当です。

アメリカのボックスタウンやフランスのカスクルートなど、日本の弁当のように海外に持ち出して食べることもできる食事は、昔から各国にあり、それぞれの国で親しまれています。そのような中、日本の弁当が海外の様々なメディアで取り上げられたり、国際的な弁当のコンクールが開催されたたりしています。私たちの身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外で話題になっているのです。

弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物までがきれいに収まっています。そのため、栄養バランスがよい食事としても、海外でも注目されるようになったのです。トマトの赤色や揚げ物の黄色などを目で見て、鮮やかな色合いになるように工夫された弁当を見て、「まるで宝石箱のようだ」と言う海外の方もいます。

また、様々なデザインの弁当箱を好みに応じて選ぶことも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランス

のデパートの食品売り場でも、おしやれでカラフルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べるための優れた機能をもつ弁当箱もあります。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱は、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目や色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。

弁当は、誰かのために作ったり、持て持ち帰って和気あいあいと食べたりすることもあります。こうした、人とのつながりをもつことができるのも、弁当の魅力です。最近では、日本だけでなく海外でも、インターネットを利用して、弁当の作り方や詰め方について交流する人が増えています。住んでいる場所も年齢も異なる人たちが、情報を交換し、仲間を作り、楽しんでいくのです。

このように、様々な魅力をもつ弁当は、世界に誇る一つなのです。

次回は、「漫画」を取り上げます。

1 日本文化の例を複数示すことで、読者が様々な国の文化と比較しながらこの紙面を読むことができるようにしている。

2 このシリーズで取り上げる内容を示すことで、読者が今後の掲載の見通しをもつことができるようにしている。

3 「海外に広がる弁当の魅力」の記事の要約を示すことで、読者が時間をかけずに新聞を読むことができるようにしている。

4 外国語の評書に載っている言葉を示すことで、読者が海外と日本の言葉の意味の違いに気付くことができるようにしている。



数学

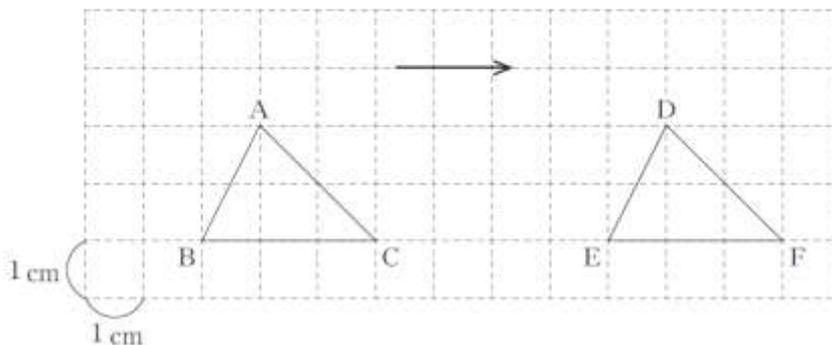
全国や県平均を下回っている。

定着傾向がみられる資質・能力

- 図形の移動の特徴を的確に捉え、平行移動の意味を理解する力
- 三角形の合同条件を証明の根拠として用いることができる力
- 代表値の特徴を理解し、問題を解決するためにどのような代表値を用いるべきか判断をする力

定着傾向がみられる代表的な問題

- 3 下の図で、 $\triangle DEF$ は、 $\triangle ABC$ を矢印の示す方向に平行移動したものです。 $\triangle DEF$ は、 $\triangle ABC$ を矢印の示す方向に何 cm 平行移動したのですか。その移動の距離を求めなさい。



課題があると考えられる資質・能力

- 数の集合と四則計算の可能性についての理解と、反例を見出し判断する力
- 表やグラフから情報を選択したり、捉えたりする力
- 文字を使って数量や数量の関係を説明したり、目的に応じて簡単な式に変形したりする。また、文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる力

課題があると考えられる代表的な問題

- 9 拓斗さんと若菜さんは、連続する3つの奇数の和がどんな数になるかを調べています。

$$\begin{array}{l} 1, 3, 5 \text{ のとき} \quad 1 + 3 + 5 = 9 = 3 \times 3 \\ 5, 7, 9 \text{ のとき} \quad 5 + 7 + 9 = 21 = 3 \times 7 \\ 13, 15, 17 \text{ のとき} \quad 13 + 15 + 17 = 45 = 3 \times 15 \end{array}$$

拓斗さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想 1

連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍になる。

上の予想1がいつでも成り立つことは、次のように説明できます。

説明 1

n を整数とすると、連続する3つの奇数は、

$2n+1$ 、 $2n+3$ 、 $2n+5$ と表される。

それらの和は、

$$(2n+1)+(2n+3)+(2n+5)$$

$$= 2n+1+2n+3+2n+5$$

$$= 6n+9$$

$$= 3(2n+3)$$

$2n+3$ は中央の奇数だから、 $3(2n+3)$ は中央の奇数の3倍である。

したがって、連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍である。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 説明1では、 $6n+9$ を $3(2n+3)$ と変形しています。このように変形するのは、次のことを示すためです。□①に当てはまる式と、□②に当てはまる数を書きなさい。

連続する3つの奇数 $2n+1$ 、 $2n+3$ 、 $2n+5$ の和が、中央の奇数を表す式である□①の□②倍であること。

- (2) 二人は、連続する4つの奇数や5つの奇数の和について考えることにしました。若菜さんは、連続する5つの奇数には中央の奇数があることから、中央の奇数に着目して連続する5つの奇数の和について調べました。

$$1, 3, 5, 7, 9 \text{ のとき } 1+3+5+7+9=25=5 \times 5$$

$$3, 5, 7, 9, 11 \text{ のとき } 3+5+7+9+11=35=5 \times 7$$

若菜さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想2

連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍になる。

上の予想2がいつでも成り立つことを説明します。下の説明2を完成しなさい。

説明2

n を整数とすると、連続する5つの奇数は、
 $2n+1$, $2n+3$, $2n+5$, $2n+7$, $2n+9$ と表される。
それらの和は、

$$(2n+1)+(2n+3)+(2n+5)+(2n+7)+(2n+9)$$

=

(3) 二人は、連続する4つの奇数の和がどんな数になるかを話し合っています。

若菜さん「連続する3つの奇数や5つの奇数には中央の奇数があるけれど、連続する4つの奇数には中央の奇数がないね。」

拓斗さん「でも、連続する4つの奇数の和は何らかの数の4倍になるのではないかな。」

そこで、拓斗さんは、 n を整数として、連続する4つの奇数を、 $2n+1$, $2n+3$, $2n+5$, $2n+7$ と表し、それらの和を次のように計算しました。

拓斗さんの計算

$$\begin{aligned} & (2n+1)+(2n+3)+(2n+5)+(2n+7) \\ &= 2n+1+2n+3+2n+5+2n+7 \\ &= 8n+16 \\ &= 4(2n+4) \end{aligned}$$

上の拓斗さんの計算から、連続する4つの奇数の和は $2n + 4$ の4倍になることがわかります。 $2n + 4$ はどんな数ですか。正しいものを、下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

- ア 連続する4つの奇数のうち小さい方から2番目の奇数
- イ 連続する4つの奇数のうち小さい方から3番目の奇数
- ウ 連続する4つの奇数のうち小さい方から1番目の奇数と2番目の奇数の間にある偶数
- エ 連続する4つの奇数のうち小さい方から2番目の奇数と3番目の奇数の間にある偶数
- オ 連続する4つの奇数のうち小さい方から3番目の奇数と4番目の奇数の間にある偶数

英語

全国や県平均をやや下回っている。

定着傾向がみられる資質・能力

- 語と語の連結による音変化をとらえて情報を聞き取る力
- 日常的な話題（家での会話）についての情報を正確に聞き取る力
- まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を読み取る力

定着傾向がみられる代表的な問題

- 7 中学生の一郎は、スミス先生 (Ms. Smith) と話しています。次の会話文中の () 内に入る最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Ms. Smith: Ichiro, why don't you read this article? It's interesting.

Ichiro: Oh, thank you, but it's all in English. That's difficult for me.

Ms. Smith: This newspaper is for students. Try reading it!

Ichiro: OK.

[*Ichiro reads the article.*]

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

[*A few minutes later*]

Ms. Smith: What is the most important point in this article?

Ichiro: (),

Ms. Smith: Right. That is the main point.



課題があると考えられる資質・能力

- 比較的まとまった文を正しく英語で表現する（書く）力
- 与えられた情報に基づいて、正しい英文で記述する力

課題があると考えられる代表的な問題

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

①	
②	
③	



課題克服に向けた授業展開例

国語

身に付けさせたい資質・能力

書き手の工夫やその効果などについて、部分と文章全体との関係を考える力

ねらい

説明的な文章を読み、書き手の工夫や効果を考え、文章全体と部分との関係を捉える力をつける。

授業展開例

2年 「生物が記録する科学—バイオロギングの可能性—」

- 1 単元全体の見通しを持つ。
- 2 書き手の工夫や効果を考えながら、文章を音読する。
- 3 特定の段落や部分に絞り、どのような工夫や効果があるのか各自でワークシートに書き出す。
 - 着目している本文の箇所に、目印をつける。
 - 根拠や理由を述べながら、書き手の工夫や効果を書き出す。
「なぜなら～から。」のような形を意識させる。
- 4 ワークシートに書き出したことをグループで交流する。
 - 見つけた工夫や効果の中で、吟味・検討し、グループ押しのものを選ぶ。
 - グループで選択した意見をまとめる。
 - グループでまとめた意見を全体で共有する。
- 5 4で交流したことを踏まえ、文章の構成や展開、表現の仕方についての考えを各自で見直し、必要に応じてワークシートに書く。
(指導の工夫)
 - 特定の段落や部分に限定することで、学びの焦点化をする。
 - 本文に線を引くなどすることで、自分が選んだ部分を明確化する。
 - グループで吟味・検討することで、書き手の目的・意図をより意識化させる。

数学

身に付けさせたい資質・能力

- ・見いだされた事柄について、数学的な結果を事象に即して解釈し、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する力
- ・見出された事柄をもとに、統合的・発展的に考察する力

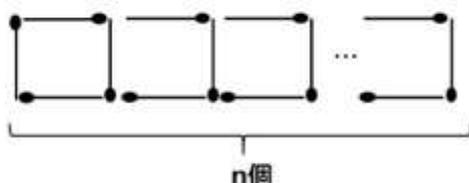
ねらい

「帰納的な思考過程」を通して、「文字を使った数の性質の説明の有効性に気づき、文字を用いた式を具体的な場面で活用」できるようにする。

授業展開例

2年 「文字式の利用」

- ・マッチ棒問題で、正方形をつなげる個数によって、使われるマッチ棒の数を帰納的に求めていき、 n 個つなげた場合のマッチ棒の本数がどのような式になるかを考える。（結論： $3n+1$ ）



- ・生徒の手元にも実際にマッチ棒を配り、具体的な操作をさせながら、 $4n+2$ ではどのような図形なのかを考え、数学的表現を使って書く。

- ・ $\square n - \triangle$ の形はできないのか、グループで考える。
- ・クロストークにより、考え方の交流をする。
- ・授業で分かったことや疑問に残ったことを、数学的表現を使ってかく。
(小テスト・自主学習・数学レポートへつなげて、さらに学習を深めていく)

外国語・英語

身に付けさせたい資質・能力

<小学校段階では>

- ・英語を注意深く聞いたり、読んだり、正確に書き写したりする力

<中学校段階では>

- ・与えられた情報を基に、英語で正確に書く力

ねらい

<小学校>

「絵カードや文字（や発音）を認識する活動」を通して、中学校で正確に話したり書いたりできるようにする。

<中学校>

「情報を読み取り、正しく伝える活動」を通して、与えられた情報に基づいて、英文を正しく書けるようにする。

授業展開例

<小学校>

「正しい表現でないと話してはいけない」という雰囲気のある授業になってしまうと、児童は自由に話しにくくなり、「思いや考えを伝えたり、聞いたりする」という言葉が持つ本来の意味を見失ってしまう。そこで、児童の興味関心を保ちつつ、中学校での学習につなげる取組を意識したい。

- 1 文法的、発音的な誤りに気付かせる。

誤りがある場合は、指導者が正しい表現を言い直して聞かせる。

→ 自然な形で正しい表現を聞かせることを心掛けたい。

- 2 話している単語と、文字を自然に結びつけられるように絵カードに綴りを併記する。



- 3 話している表現を見える化するためにキーセンテンスを板書する。
(3年生から)

What fruits do you like?

I like apples.

- 4 文字の認識、音と綴りとの関係性の理解を深めるために授業冒頭で文字指導を含む短い活動をパターン化する。

【例】

- Jingle : 文科省補助教材/松香フォニックス等でアンカーワードともに文字と音とを結びつけ、1文字1音に親しむとともに単語に見慣れる。
- Song : アルファベットを見ながらみんなでアルファベットソングを歌う。
- Alphabet Quiz : 1文字1音にジェスチャーとクイズで親しむ/初めの1音をあてる/Word tree 等
- Picture books : Jolly phonics
- アルファベットを書く : 大文字小文字を4線に書く。
名前を聞いて大文字小文字を4線に書く。
- なぞり書き、写し書き : 音と綴りの関係を意識して書く。

< 中学校 >

1 Reporter になろう

- 1 朝来市の ALT の情報（下記）を基に、読み取れたことを口頭で伝え合おう
(ペア)

名前	コリー (Cory)
① 出身	アメリカ
② 住んでいる所	竹田
③ スポーツ	剣道○ 野球×
④ 食べ物	寿司○ そば×
⑤ 持ち物, ペット	犬○



- 2 話したことを書いてみよう (個人)

Cory from USA. He is live takeda. He do kendo.

But he don't play baseball. He like sushi. He don't like soba. He have dog.

(※生徒が最初に書いた誤りのある文例)

2 Editor になろう

Step 1

- 1) 教師が作成した「間違った英文」をクラスに提示し、全員で修正する。
- 2) チェックリストを表にしたもので確認する。

< 教師が作成した「間違った英文例」 >

Keite from USA. She live Wadayama. She is play tennis. But she don't play volleyball. She like tempura. she don't like natto. She have cat.

< Editor になろう > 英文の正しさチェックリスト

	from の前に is があるか
	live の後ろに in があるか
	主語が I と you 以外で単数の時の動詞の形は正しいか (like? likes?)
	主語が I と you 以外で単数の時の否定文は正しいか (don't? doesn't?)
	be 動詞と一般動詞を一緒に使っていないか

Step 2

Step1 でまとめたチェックリストを活用して誤りを修正し、書き直す。

* 修正は赤ペンでしよう。

3 Writer になろう

自分のことや身近な人の話題をライティングしよう。

- 1 ペアで互いのことを、インタビューしあう★
- 2 収集した情報についての報告文を書く☆
- 3 書いた文を上記のチェックリストを用いて自分で修正したり、ペアでチェックしあったりする

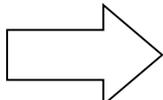
- 1 Where do you live?
- 2 What club are you in?
- 3 What sports do you like?
- 4 What food do you like?
- 5 What music do you like?
- 6 What artists do you like?
- 7 What do you have?
- 8 When is your birthday?
- 9 What color do you like?
- 10 What season do you like?

★友だちにインタビューしよう

名前	例 : Hayato	
住んでいる所	Yanase	
部活動	basketball	
好きなスポーツ	sumo	
好きな食べ物	okonomiyaki	
好きな音楽・アーティスト	Kitajima Saburo	
持ち物・ペット	guitar, rabbit	

☆報告文 :

Hayato live in Yanase.
 He is basketball club.
 He like sumo.
 He likes okonomiyaki.
 He likes the music.
 Him favorite artist is Kitajima Saburo.
 He have a guitar and a cat.



修正

Hayato lives in Yanase.
 He is in the basketball club.
 He likes sumo.
 He likes okonomiyaki.
 He likes music.
 His favorite artist is Kitajima Saburo.
 He has a guitar and a rabbit

【発展】

4 学校について書いてみよう

人物以外の無生物主語の文も書いてみる

修正、チェックなどの展開は、上述の通り。ALT を活用することもよい。

今 後 に 向 け て

今年度の調査結果分析から、朝来市の児童生徒の学力については、小・中学校とも概ね定着していると考えられる。

しかし、依然として中学校において全国平均を下回る結果となり、全体を見ても、主として活用を問う問題に対して苦手とする傾向が見られる。

本市では、「小小連携推進事業」や中学校区ごとの「小中連携推進事業」を実施して実践の共有と系統化を図るとともに、各校での同調査を分析し、抱える課題とその課題解決に向けた取り組みを協議し、学習状況の改善や教員の指導力の向上を図り、子どもたちの学習意欲や学力向上に取り組んでいる。

また、平成26年度から取り組んでいる「授業のユニバーサルデザイン化モデル研究事業」で、市内小・中学校の数校をモデル校に指定し研究を進めてきた。全ての子どもたちに分かりやすい授業づくりについて研究していく中で、どの学校でも落ち着いた学習に取り組む児童生徒の姿が見られるようになってきている。

今後、2020年の小学校、2021年の中学校での次期学習指導要領の完全実施に向け、これらの取組を市内全小・中学校で継続実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教員の授業力・指導力向上につながる研修会を開催していく。そして、更なる各教員の意識向上を図るとともに、児童生徒の学習意欲、関心の向上につなげ、学力向上を図るなど、更なる授業改善に取り組んでいく。



お問い合わせ先 朝来市教育委員会
学校教育課 TEL 672-4930